

# 117期通信

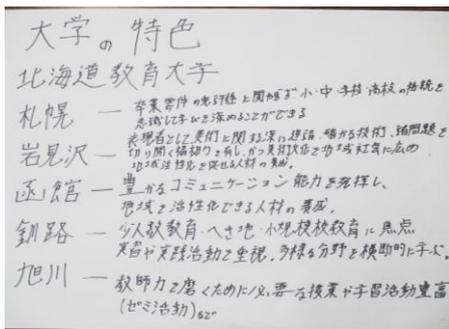
北海道小樽潮陵高等学校1学年通信  
令和2年12月10日(木)発行 第20号  
潮陵1学年団

## ☆アカデミックリサーチ学年発表

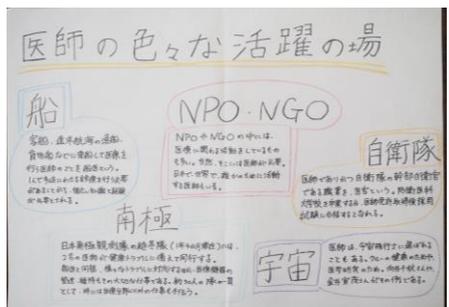
11月4日(水)から約1ヶ月に亘り、アカデミック(学問・大学)をリサーチ(情報収集・調査・研究)してもらいました。12月2日(水)にクラス内で発表を行い、先日の学年発表ではそれぞれクラスの代表1グループが個性を生かし発表してくれました(写真は代表グループのポスターの一部)。

A組の代表グループ(Iさん・Kさん・Nさん・Mさん・Mさん・Y君)は、文学部についての発表でした。歴史学での学びは、すでにわかっていることを学ぶ高校までの学習とは違い、まだ解明されていないことについて研究するなどの話がありました。

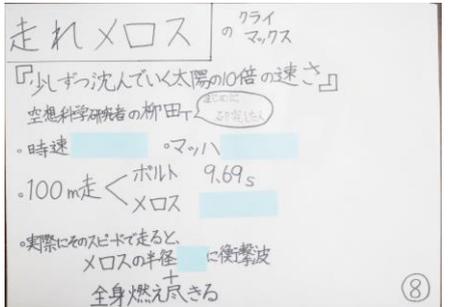
B組の代表グループ(I君・I君・O君・T君・T君・N君・M君・S君)は、理学部についての発表でした。発表内容は、理学部のデメリットが学部特有の専門職が少ない話や、もの作りの工学部に対して事象を研究するのが理学部であるなどの話をしてくれました。



C組の代表グループ(Kさん・Kさん)は、法学部について発表してくれました。法学を学ぶことで、適切な行動をとるための決断力(リーガルマインド)を身につけられる話や、異性にモテるランキングの男子部門第一位が法学部という話などがありました。これは諸説あると思います…

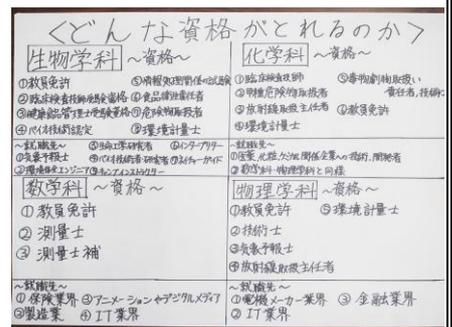
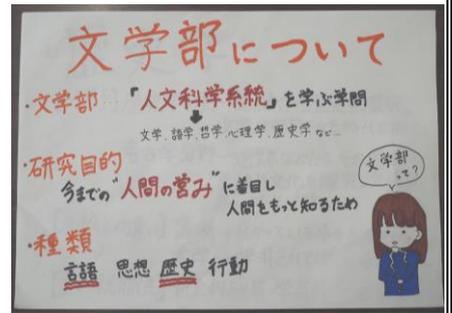


D組の代表グループ(M君・S君・T君・Kさん)は、教育学部について発表してくれました。教育学部スポーツ科学科は道外私立大学にしかない話や、北海道教育大学の5分校の特色についてなどの説明がありました。



E組の代表グループ(Sさん・T君・Nさん・M君・Wさん)は、医学科医学科についての発表でした。医学科で活躍されている方の具体的な話や、臨床医と研究医の違いについて、その他には医師になるまでのカリキュラムについて説明してくれました。

F組の代表グループ(K君・H君・O君・M君・I君)は、理学部についての発表でした。お菓子「ねるねるねるね」の色がなぜ変化するかを化学式で説明したり、走れメロスの1節にある「少しずつ沈んでいく太陽の10倍の早さ」を科学的方法を用いて算出(マッハ11、100m0.02秒)したりなど理学部での具体的な学びについて説明がありました。



学年発表に限らず、各クラスとも熱心に取り組んでいるグループが多く、様々な学部や学科について見識を深めることができたのではないのでしょうか。さて、大学に入学するためには当然一定の学力が必要になります。定期テストの復習はしましたか?返却された11月模試の復習はしましたか?学習は復習が命です。今回のアカデミックリサーチが自らの学習を見直すきっかけにもなっていることを願っています。